



学校だより 3月号

令和6年2月29日（家庭数配付）

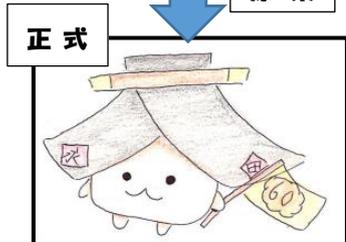
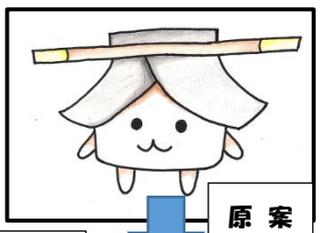
60周年に向けて～マスコット決定

校長 足立 渉

校庭に面した白梅が満開で、甘い香りが漂っています。その香りに誘われたのか、2羽の緑色のきれいな鳥が仲よく枝にとまっています。「おお！鶯では？」と思いましたが、よく見ると目の周りが白くなっています。調べるとその鳥は「メジロ」でした。メジロは甘いものが好きで、花の蜜が大好物のようです。私が見た様子は、梅の蜜を吸いに来ていた姿でした。その後、毎日のようにメジロが蜜を吸いに来ていました。受粉を助けるメジロが連日これだけ来ているので、今年は実が豊作になりそうです。それを使って、また4、5組さんの梅ジュース作りができるだろうと、今から楽しみにしています。



さて、来年度の60周年に向けたマスコットが決まったので紹介いたします。本校の特色の一つである「助郷でつかう籠」からイメージを膨らませ、6年生の児童がキャラクターデザインしました。名前も助郷をさかさまにした「ごうすけ」です。左のイラストを基に運営委員会や代表委員会でさらに話し合い、正式なキャラクターが決まりました。



『永田らしさに「学援隊」もあると思う。』という意見から、学援隊さんの持つ旗を持たせました。「60周年がわかる方がいい」という意見から、旗に「60」を入れました。永田小であることがわかるように、屋根の部分に「永」と「田」を入れました。こうして、60周年のキャラクター「ごうすけ」が完成しました。このキャラクターのもと、次年度の60周年を盛り上げていきます。今年度も、様々なところで保護者の皆様、そして永田のまちの皆様にはご協力いただきました。本当にありがとうございました。次年度も、本校の教育活動に変わらぬご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。最後に60周年に向けた本校の謎を一つ紹介します。

【校歌作曲者の謎】

本校の校歌は開校した昭和40年10月に完成しています。第1回目の卒業式に間に合うように、当時の先生方や地域の皆様がかんぼってくださったことが伺えます。作曲者である木下忠司さんが校歌の完成を祝して、児童全員にソノシートを配られたそうです。（どなたか今でもソノシートをお持ちの方はいらっしゃいますか？いれば本校までお電話ください。）さて、作曲者である木下忠司さんですが、ある有名な時代劇の主題歌を作曲されています。知っていますか？

それは「水戸黄門」の主題歌です。もちろん、それ以外にもたくさん有名な映画やテレビの音楽をつくられています。とても有名な方です。